

「学習内容シート」中学校第2学年



中学校数学で学ぶ
内容を確認しながら
学習を進めましょう

_____組 _____号

名前 _____

学習した内容がどれくらい
分かったか、当てはまる
番号に丸を付けましょう。
1...よく分かった
2...まあまあ分かった
3...あまり分からなかった
4...分からなかった

<領域>	<中学校第2学年で学ぶ内容一覧> 1年間の内容を確認したり単元ごとの内容を確認したりして、学習を進めましょう。 内容ごとに、教科書の問題や学習プリントなどに取り組んで、学習した内容がどれ くらい分かったか確認してみましょう。	教科書 の該当 ページ	内容の 理解度 チェック
A 数と式			
B 図形			
C 関数			
D 資料の活用			
A(1) 文字を用いた式	◎具体的な事象の中に数量の関係を見だし、それを文字を用いて式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を養うとともに、文字を用いた式の四則計算ができる。〔用語・記号〕 同類項 ・ 簡単な整式の加法、減法及び単項式の乗法、除法の計算をすること。 ・ 文字を用いた式で数量及び数量の関係をとらえ説明できることを理解すること。 ・ 目的に応じて、簡単な式を変形すること。	12~24 25~28 28、29	1 2 3 4 1 2 3 4 1 2 3 4
A(2) 連立二元一次方程式	◎連立二元一次方程式について理解し、それを用いて考察することができる。 ・ 二元一次方程式とその解の意味を理解すること。 ・ 連立二元一次方程式の必要性と意味及びその解の意味を理解すること。 ・ 簡単な二元一次方程式を解くこと及びそれを具体的な場面で活用すること。	34~36 37 38~51	1 2 3 4 1 2 3 4 1 2 3 4
B(1) 基本的な 平面図形の性質	◎観察、操作や実験などの活動を通して、基本的な平面図形の性質を見だし、平行線の性質を基にしてそれら確かめることができる。〔用語・記号〕 対頂角、内角、外角 ・ 平行線や角の性質を理解し、それに基づいて図形の性質を確かめ説明すること。 ・ 平行線の性質や三角形の角についての性質を基にして、多角形の角についての性質を見いだせることを知ること。	90~98 98~102	1 2 3 4 1 2 3 4
B(2) 図形の合同	◎図形の合同について理解し図形についての見方を深めるとともに、図形の性質を三角形の合同条件などを基にして確かめ、論理的に考察し表現する能力を養う。〔用語・記号〕 定義、証明、逆、≡ ・ 平面図形の合同の意味及び三角形の合同条件について理解すること。 ・ 証明の必要性と意味及びその方法について理解すること。 ・ 三角形の合同条件などを基にして三角形や平行四辺形の基本的な性質を論理的に確かめたり、図形の性質の証明を読んで新たな性質を見いだしたりすること。	103~106 107~114 118~143	1 2 3 4 1 2 3 4 1 2 3 4
C(1) 一次関数	◎具体的な事象の中から二つの数量を取り出し、それらの変化や対応を調べることを通して、一次関数について理解するとともに、関数関係を見だし表現し考察する能力を養う。〔用語・記号〕 変化の割合、傾き ・ 事象の中には一次関数としてとらえられるものがあることを知ること。 ・ 一次関数について、表、式、グラフを相互に関連付けて理解すること。 ・ 二元一次方程式を関数を表す式とみること。 ・ 一次関数を用いて具体的な事象をとらえ説明すること。	56~60 61~72 73~79 80~85	1 2 3 4 1 2 3 4 1 2 3 4 1 2 3 4
D(1) 不確定な事象の 起こりやすさ	◎不確定な事象についての観察や実験などの活動を通して、確率について理解し、それを用いて考察し表現することができる。 ・ 確率の必要性と意味を理解し、簡単な場合について確率を求めること。 ・ 確率を用いて不確定な事象をとらえ説明すること。	148~161 162~163	1 2 3 4 1 2 3 4
D(2) データの分布	・ 四分位範囲や箱ひげ図の必要性と意味を理解すること。 ・ コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し箱ひげ図で表すこと。 ・ 四分位範囲や箱ひげ図を用いてデータの分布の傾向を比較して読み取り、批判的に考察し判断すること。	補助教材 8~12 補助教材 13、14	1 2 3 4 1 2 3 4



＜数学の学習と用語・記号＞

用語・記号は、社会で共通に認められた内容を簡潔に表現したものです。特に記号は操作がやすく、一般性があります。それらを的確に用いることによって、思考を、より正確・確・能率的に進めることができます。用語は、数学と日常生活で同じ言葉違いなのに、意味にずれがある場合があります。各領域で学習する用語・記号については、意味や内容を理解した上で、使うことができるようになりますよ。

チェックの後

丸を付けた番号に応じて、学習を進めましょう

- 1...教科書に載っている問題以外にもチャレンジしたり、生活の中のことを数学を使って考えたり解決したりしましょう。そのことをノートに(レポートに)まとめてみましょう。
- 2...定期的・計画的に(一ヶ月に一度程度は)内容を復習することを心掛けましょう。また、教科書に載っている問題以外にもチャレンジして理解を深めましょう。
- 3...教科書の該当ページを読み返して、内容がよく分からないところに印を付けましょう。印を付けたところについては、先生や友達、家族などに質問して理解に努めましょう。
- 4...分からないところを先生や友達、家族などに質問しましょう。また、分からない内容と似ている内容(1年生で習った)を探してみましょう。

▶「学習内容シート」の内容について

※一部

中学校数学で学ぶ「4つの領域」を表しています。

領域ごとに整理された学習内容(単元)のタイトルを表しています。

各単元において、「◎」は目標を、その後に続く「・」は学習する内容を、[用語・記号]は取り扱う用語や記号を表しています。

学習した内容がどれくらい分かったか確認した後に、理解度に応じて、新たな問題発見・新たな知識獲得をしたり学び直しをしたりするための学習の進め方(例)を示しています。

**中学校数学で学ぶ
内容を確認しながら
学習を進めましょう**

「学習内容シート」中学校第1学年

組 号

名前

学習した内容がどれくらい分かったか、当てはまる番号に丸を付けましょう。

1…よく分かった
2…まあまあ分かった
3…あまり分からなかった
4…分からなかった

<領域>	<中学校第1学年で学ぶ内容一覧> 1年間の内容を確認したり単元ごとの内容を確認したりして、学習を進めましょう。内容ごとに、教科書の問題や学習プリントなどに取り組んで、学習した内容がどれくらい分かったか確認してみましょう。	教科書の該当ページ	内容の理解度チェック	
A 数と式	◎ 具体的な場面を通して正の数と負の数について理解し、その四則計算ができるようにするとともに、正の数と負の数を用いて表現し考察することができる。【用語・記号】自然数、符号、絶対値 ・ 正の数と負の数の必要性と意味を理解すること。 ・ 小学校で学習した数の四則計算と関連付けて、正の数と負の数の四則計算の意味を理解すること。 ・ 正の数と負の数の四則計算をすること。 ・ 具体的な場面で正の数と負の数を用いて表したり処理したりすること。 ・ 自然数を素数の積として表すこと。	～	1 2 3 4	
A(1) 正の数と負の数		～	1 2 3 4	
A(2) 文字を用いた式		◎ 文字を用いて数量の関係や法則などを式に表現したり式の意味を読み取ったりする能力を培うとともに、文字を用いた式の計算ができる。【用語・記号】項、係数、≦、≧	～	1 2 3 4
A(3) 一元一次方程式		◎ 方程式 ・ 方程式 ・ 等式の ・ 簡単な	補助教材	1 2 3 4
B(1) 平面図形	◎ 観察、探 理解を ・ 角の二等			

チェックの後は 丸を付けた番号に応じて、学習を進めましょう

- 1…教科書に載っている問題以外にもチャレンジしたり、生活の中のことを数学を使って考えたり解決したりしましょう。そのことをノートに(レポートに)まとめてみましょう。
- 2…定期的・計画的に(一ヶ月に一度程度は)内容を復習することを心掛けましょう。また、教科書に載っている問題以外にもチャレンジして理解を深めましょう。
- 3…教科書の該当ページを読み返して、内容がよく分からないところに印を付けましょう。印を付けたところについては、先生や友達、家族などに質問して理解に努めましょう。
- 4…分からないところを先生や友達、家族などに質問しましょう。また、分からない内容と似ている算数の内容(小学校で習った)を探してみましょう。